

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (闘牛ブラボー)

- (1) 左後ろ足が折れている。 図-1
- (2) その他は異常無いようである。
- (3) 覆っている毛皮を剥がし、元に戻すのが難治療だ。



図-1 受付時左後足内側に入込んでいる



図-2 毛皮を剥がし、足は直に立たして撮影

2 治療の方法

- (1) 始めに毛皮を剥がし、そして診察をした。図-2～図-4



図-3 頭部も外さないと分解できない構造



図-4 この打開で内部が診られた

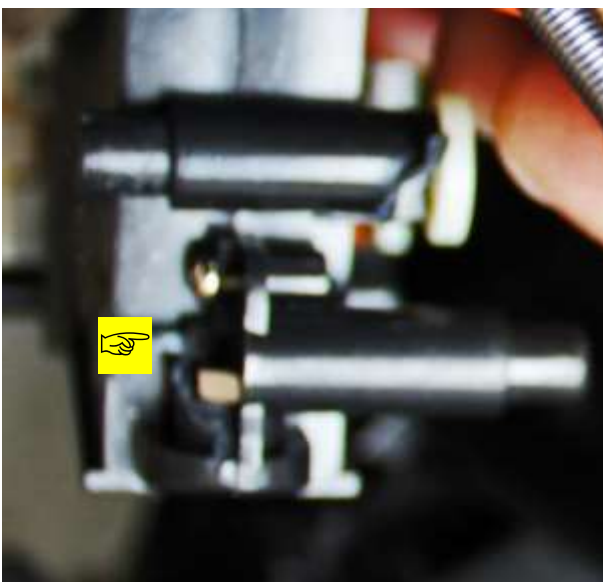


図-5 壊れていた箇所はここだ(右図参照)



図-6 治療後の正常な状態

(2) まずは、図-5 の割れ・折れ箇所を治療した。

図-6 で説明すると、中ほどの上の角型の部品は、モーターやギアが入っている箱状で、左右がネジ止めで合わさっている。見ての通り左側は、右側よりも弱い造りになっている。したがって、図-5 のように左側が割れ・折れ破損したものと推測できる。

(3) 治療は、専用の協力ボンドを用いたが、肉薄の部分に補強のため白いプラスチックの粉を載せて上から専用強力ボンドを染みこませて補強した。※黒色のプラがなかったため。図-7

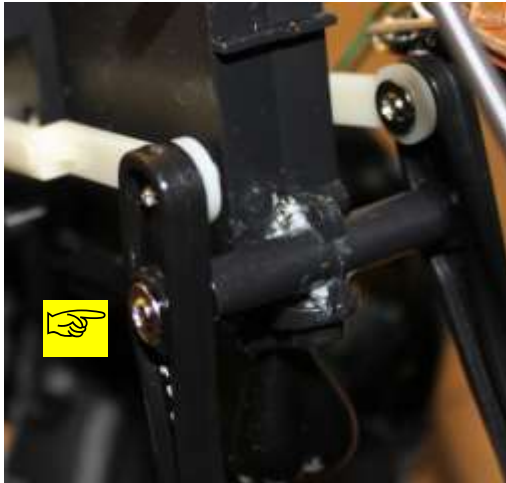


図-7 プラスティックの粉で補強



図-8 ネジ穴が割れていた

図-7 の黄色い矢印が示す左後足の止めネジが入る穴が、図-8 のように割れていた。ボンドで治療完了。

(4) その他に、首の部分に頭と胴体を繋ぐためのピンがあり、ワッシャも抜けないように突起した形になっており(図-9)、突起をミニグラインダーで削り頭を外した。組む時には、図-10 のように精密糸鋸で割りを入れ組んでから割ピンのように開いて抜けないようにした。



図-9



図-10



図-11



図-12

(5) また、図-9 の左に見えるネジは、頭を上下に振る仕組みのバーを止めるネジである。

このネジ穴も、図-11 のように割れていた。※割れ目に紙を差し込んで撮影した。

これも、図-12 のように専用の強力ボンドを付けて、乾くまでラジオペンチで押さえているところである。

3 ドクターからのアドバイス

右は治療を終えて退院を待ち望む闘牛の勇士です。

図-2・図-3 でもお分りのように決して足の造りは丈夫そうには見えません。乱暴に扱わないようにしましょうね。



お渡し予定日： 平成29年03月12日 担当ドクター： 谷 春 雄